

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2015No.1】(HP 収載)

分類：TV

局等：地デジ E テレ

作曲家：スッペ他

曲名：Ouv. Ein Morgen, ein Mittag, ein Abend in Wien 他

演奏：メータ指揮ウイーンフィル

関連サイト：

ウイーンフィルホームページ

<http://www.wienerphilharmoniker.at/jp/concerts/concert-detail/event-id/585>

NHK オンライン

<http://www4.nhk.or.jp/P2992/>

<http://www4.nhk.or.jp/P2992/2/>

<http://www.nhk.or.jp/classic-blog/100/206328.html>

備考：

概要：

恒例のウイーンフィルのニューイヤーコンサートですが、本年はウイーンフィルと関係の深いズービン・メータの指揮でした。プログラムは下記のとおりで、NHKの地デジでは元旦の19時から放送があり、再放送は1月12日と2月1日深夜の予定です。詳細は上記サイトをご覧ください。

CD、DVD、Blu-ray Disc、そして輸入のみLPが発売とのアナウンスもあります。写真はCDのジャケットです。

[http://tower.jp/article/feature\\_item/2014/10/31/1104](http://tower.jp/article/feature_item/2014/10/31/1104)



#### 【プログラム】

フランツ・フォン スッペ

Ouv. Ein Morgen, ein Mittag, ein Abend in Wien

ヨハン シュトラウス 2世

**Maerchen aus dem Orient. Walzer, op. 444**

ヨーゼフ シュトラウス

**Wiener Leben. Polka francaise, op. 218**

エドゥアルト シュトラウス

**Wo man lacht und lebt. Polka schnell, op. 108**

ヨーゼフ シュトラウス

**Dorfschwalben aus ?sterreich. Walzer, op. 164**

ヨハン シュトラウス 2世

**Vom Donaustrande. Polka schnell, op. 356**

--休憩--

ヨハン シュトラウス 2世

**Perpetuum mobile. Musikalischer Scherz, op. 257**

**Accelerationen. Walzer, op.234**

**Elektro-magnetische Polka, op. 110**

エドゥアルト シュトラウス

**Mit Dampf. Polka schnell, op. 70**

ヨハン シュトラウス 2世

**An der Elbe. Walzer, op. 477**

**Hans Christian Lumbye**

**Champagner-Galopp, op. 14**

ヨハン シュトラウス 2世

**Studenten-Polka. Polka francaise, op. 263**

ヨハン シュトラウス 1世

**Freiheits-Marsch, op. 226**

ヨハン シュトラウス 2世

**Annen-Polka, op. 117**

**Wein, Weib und Gesang. Walzer, op. 333**

エドゥアルト シュトラウス

**Mit Chic. Polka schnell, op. 221**

昨年と同様、BZT-9000 で録画しながら並行して TASCAM DA-3000 で 5.6KHzDSF で録音しましたが、今回は外部クロック入力可能な SWT-DA10 と MYTEK DIGITAL 192-DSD が入手できたことから次のようなルートで録音しました。( ) 内は GPS-777 からのクロック入力周波数です。

プログラム前半 :

BZT-9000→CCV-5 (96KHz) →SWT-DA10 (192KHz) →DA-3000 (44.1KHz)

プログラム後半 :

BZT-9000→CCV-5 (96KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD (192KHz) →DA-3000 (44.1KHz)



再生の方は BS 録画と TASCAM DA-3000 により DSD 録音したものについて行いました。

BZT9000→CCV-5 (96KHz) →micro iDSD→DA-3000 (44.1KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD (DA-3000 よりクロック供給)

PC→【HiFi Noise Filter】→micro iDSD→DA-3000 (44.1KHz) →MYTEK DIGITAL 192-DSD (DA-3000 よりクロック供給)

HD-LSU2D→【ES-OT4】→PC

CCV-5 には GPS-777 から、DA-3000 には ABS-7777 からクロックの供給を行っています。外付け HDD と PC の間にはステレオ誌 1 月号の付録の ES-OT4 を、PC と micro iDSD の間には FIDELIX の HiFi Noise Filter を介在させています。

DSD 録音音源の再生では PC にインストールした HQPlayer Desktop 3 ASIO により DSD Native で micro iDSD に送り出します。

BS 録画の再生と DSD 録音音源の再生の比較では、前者が micro iDSD において CCV-5 からの 96KHzPCM から DA 変換するのに対し、後者は DSD の Native 再生なので、その特徴が音に出てきます。

SWT-DA10 経由の録音と MYTEK DIGITAL 192-DSD の DSD 録音音源の再生の比較では、前者がエッジの立ったさっぱり系の音であるのに対し、後者の方がより肌理が細かくディテールの再現に優れており、これはこれまでの印象と変わりません。

昨年の DSD 録音との同じ条件で再生した比較では、今回は DAC に 192KHz の外部クロック入力を行っているためか、全体に肌理が細かく、例えば、青きドナウなどでは弦のトレモロの美しさが良くでています。なお、BS 録画の条件は変わっておらず、昨年と今年の BS 録画の再生の違いは感じられませんでした。

以上から、BS 放送の生中継を DSD 録音する意味はあると感じています。